

インタビュー(2)

・結婚に関する質問

——結婚までの準備でこれは大変だったなっということありますか？

大変だったことは特になくて、式もあげなくて、相手とは結婚前から同棲してたので、何も変わりなく進みました。

——仕事の方も変わりなく

そうでしたね。

——役所関係の書類はどうでした？

役所関係の書類も、特に難しいことはなかったです。普通の届けを書いて出ただけなので特にストレスなく済みました。苗字が変わるので手続きのために銀行に行かないといけないうのはありましたけど、アニメの仕事に影響するような事は準備段階ではなかったですね。周りにも特に言わなかったの。

——ずっと一緒に暮らしていて、結婚するとなった時に何か不安や心配はありましたか？

結婚するにあたっての不安も特になくて、金銭面でもラクになるかなって思って。相手も同業者なのでこれまで通りだろうなって思って、不安は無かったです。

——結婚してからの仕事への影響はどうでしょう？

結婚した時も、仕事への影響は特に何もなかったですね。

・妊娠に関する質問

——では次に、赤ちゃんができたのが分かってから、仕事への影響はありましたか？

やっぱり妊娠してからは仕事量がちょっと減ったと思います。ただ、集中力は増した気がしますので「ちょっと」で済んだようにも思います。あと、劇場の拘束という「よい環境」で

仕事が出来たのもラッキーだったと思います。試写に行けなかったのは残念でしたが……。

——では割と順調に？

つわりが始まるまではそうですね。つわりの時期は、仕事を請けたけど……打ち合わせはしたけど出来なくなって引き上げてもらった事がありました。

——つわりは重い方でしたか？

つわりは一ヶ月くらいの期間でした。その間は結局仕事はまったく出来なかったです。

——つわりはどんなところが大変でしたでしょうか？

つわりは、座ると気持ち悪くて辛かったです。寝てると楽になるんですけど、座る姿勢が辛くて仕事できなかったです。その期間ですね、請けたけど出来なかった仕事があったのは。

——他の方にインタビューした時に、その方は「6週間くらいでつわりは終わるらしい」という情報を先に待っていて、でも終わらなくて。次の情報で11週らしいと聞いてそれを待っていたり。

そうですね(笑) 私もつわりの最中は、つわりが終わると言われている期間を指折り数えて過ごしていました。

——つわりは仕事に相当影響があったようですね。

つわりは仕事にダイレクトに影響がありました。妊娠前は自分でもつわりは我慢できると思ってたけど、実際は我慢できなかったです。

——つわりに関しては、それ自体が辛いというのは勿論ですが、制作やプロデューサーが特に男性の場合、理解していない人がやはり多いのと、説明するのが難しい、というお話をされてる方もいました。

そうですね。それはあると思います。ただ、当時いたスタジオの制作はその辺り理解してくれていて、仕事を調整してくれたりしてました。

——女性でも、出産された方でもつわりが軽かった方は「たいしたことないよ」と言われて、理解してもらえない場合もあるようです。

あ、そういう事もあるんですね。……周りの理解もあるんですが、自分自身の気持ちもあって。つわりは3ヶ月目とか妊娠初期にくるのですが、その頃って周りには言いにくい時期で、その頃につわりが元で仕事が上がらなかつたりすると、説明してもお腹が大きくなる前だし分かってもらえるかな？という不安はありました。

——その時期はなんとなく言いにくい、というのは？

そう、……安定期になるまでは言いたくないなって。つわりで辛くて仕事が上がらない事があっても、理由を説明しにくくて。

——あ、そうですね安定期までは。仕事が進まないけど説明もしにくい時期というのは、辛いですね。他の方の話でも、つわりの時期が一番仕事が辛いというのはありました。

ああ、やっぱりそうなんですね。

多分、つわりに関してはアニメ関係だけでなく一般の企業に務めてる人もそうなんだろうなって思います。お腹が大きくなってからは一般の人も産休ってあるでしょうけど、つわりの時期って産休ってないし、一般の人もこの時期は親しい上司だけには言って頑張るくらいなのかなって。周りに言いにくい時期だなって感じました。

——体の辛さだけでなく「言いにくい時期」という問題もあるんですね。

あと、つわりになっても最初は大丈夫なんですけど、だんだん辛くなるから、大丈夫と思ってた時期にとった仕事がうまく進まなくなったりもしました。周りだけでなく自分も「つわりがどういうものか」を知らなかったの。知っていれば仕事の取り方考えられたのにな、とは思いました。つわりの時期は安定期前ということもあって、妊娠してるのを周りに言っていなかったの……仕事の上がりが出せない理由をなんて説明すればいいのかなって悩みました

——通院に関してはどうでした？

通院は最初は月一で、最後あたりは月二回くらいでした。会社の近くの病院だったので時間もそんなにかかりませんでした。

——かかる時間は実際にはどのくらいでした？

会社を出て戻ってくるまでで、だいたい一時間くらいでしょうか。

——それでも一時間くらいはかかるんですね。

診察自体はすぐに済むけど、待ち時間の方が長い感じです。

——待ち時間……風邪とかで診察してもらうのと同じですね。待つ方が長い(笑)

そうですね(笑) 通院は時間が読めるので負担は特に感じなかったです。

——金銭面ではどうでしょう？

金銭的には、区から回数券が出てるので、お金を払ったって感じはないですね。

——それは、妊娠されてる方が使える割引券みたいな？

割引券というより、綴りになってて、回数券みたいなものです。3D エコーとか特別の検査をする時はお金かかりますけど、それ以外でお金がかかった印象はなかったです。

——回数券……そういうのがあるんですね。

はい、私も貰って初めて知りました。

——ちなみに何区でしたか？

私は杉並区でしたが、どこでもやってるとは思います。

——回数券をもらう時にお金はかかりましたか？

いえ、お金は、最初に病院で妊娠してるか否かを検査してもらった時は払いましたが、そこでもらった妊娠証明書を持って区の窓口に行ったら回数券をくれて……貰ってからは病院に行く度に回数券を出してましたから、定期検診は回数券だけでお金は払わなかったと思います。

——回数券は何回分でした？

何回分だろう？……区の窓口で回数券もらって、券がべろーんって連なってて、「こんなに何度も病院に行くんだー」って思った記憶はあります。

——そういうシステムがあるんですね。全然知らなかったです。定期検診（妊婦検診）は特別な場合を除き、お金はかからないんですね。（編集注：妊婦検診は自治体によって料金などが異なります）

いや、未婚であつたりお子さんが生まれる前でそういうシステムを知らない人だと病院行くわけですからお金かかると思うじゃないですか。検診のための回数券っていうのがあるんですね。

はい。

・ 仕事復帰と保育園

——伺っていると結婚出産まででつわり以外では大きな問題は無かったとの事ですが、気持ちとして何か不安なことはありましたか？

あー、仕事が無くならないか、復帰できるのかという不安はありました。産むこと自体はもう産むしかないの不安は無かったのですが……ブランク後に、今やってるのと同じように仕事ができるのか、間がこれだけ空いて技術的に元に戻れるか、というのは不安でした。

——制作会社との付き合いが途切れる不安と、技術的な部分が……

すごい空いちゃうから、大丈夫かなあって。

——確かに、動画の頃とか一日空いただけで感覚が戻らなかつたりってありました。それが妊娠・出産・育児で長期間になると、って考えると。

それはすごくありますよね。

——そういう事に関して、誰かに相談しました？

相談……うーん。仕事が切れるのも不安だったので、出産後の仕事に関してはプロデューサーと「出産後、半年ぐらいしたら復帰しますんでよろしくお願いします」って感じで営業は

しておきました。

——事前のアピールは必要ですね。プロデューサーは男性が多いので「出産後どのくらいで仕事に復帰出来るのか」というのをそもそも知らない場合があります。

そうですね。ただ、私としては体力的には半年くらいで復帰できるだろうなって思ってた、実際、体力の方は大丈夫で。それとは別に「子供、保育園に入れて大丈夫かな？」という不安があったんです。そしたら逆に、子供の預け先がなくて。体調は戻ったんですけど預け先がなくて。結局、産まれて一年くらいは子供のお世話がなかったので、ちゃんと復帰できなかったんです。ですから当時は結局「まずは預け先、仕事はそのあと！」という感じでした。

——預け先が無い、というのは保育園の倍率が高くて、もれてしまう？

いえ、保育園について私も知らなかったんですけど、保育園って4月入所で、途中入所はできなくて。うちの子は4月生まれだから翌年の4月まで一年間、入れなかったんです。

——ああ、4月生まれだと申し込みが締め切られてる。

はい、「年に一度12月に一斉に申し込みからの4月に一斉に入所」ってシステムなんだって、後から知りました。

(編集注：中途入所可の保育園もあるが、数は限られる)

あと、12月に申し込んでいけば4月に入所できますけど、預けられるのは生後三ヶ月からなんです。

——あ、出産後すぐに預けるのは、お子さんも小さいですし確かに……

仮に「12月申し込み」を知ってても、4月に産まれてすぐは預けられないですから、どっちみち預けるのは一年後の4月からなんだなって。4月生まれだと半年後に仕事復帰は難しかったんだなって思います。

——産まれた年の12月に申し込まれて、それは翌年4月に入所できましたか？

はい、そこは大丈夫でした。

——そもそも、生まれる前に申し込む事はできるんでしょうか？(後述あり)

うーん、どうなのでしょう？ その辺も生む前にちゃんと調べておけばよかったなって思います。産むまでは「預けたければ空いてるところ探して普通に預けられる」と思ってたんですけど……申し込みの締め切りがあるんだ?! ……って。そういうのがあること自体知らなかったです。

——私も初めて知りました。そういった情報が、いざその時になって初めて知る、ではなくて事前に知っておきたいですね。

そうですね。

うーん、産まれる前に申し込めるものなのか、どうなのでしょう？

——そうですね。ちょっと調べてみます。

(編集注：産まれて後、出生届の手続きを役所でしてから申し込めるシステムとのことです)

——締め切りがあるというのは、申し込まれた自治体だけでなく、全国どこでもそうなんでしょうか？

東京に関しては多分どこもそうなんだと思います。例外もあると思いますけど。

——意外とタイトなんですね。

ねっ

——赤ちゃんなんて、毎月毎日、日本中で生まれてるのに、保育所の締切は12月だけ。てことは、生まれる月によって、預けるまでの月日が大きく変わってくる。「11月に産まれました→12月に申し込みました→4月に入所しました」っていうナイスレスポンスもあれば、産まれてから入所まで一年以上、という場合もある。

確かに。そうですね。

——いや、私は結婚してないし子供もいないですけど、でも情報として流れてくる事も多いから無知って事はないだろうって思ってたなら、……もう知らない事だらけで。

私も全然知らなくて「12月に申し込む」ってのが知られるといいなって思います。

——今回のインタビューでそういう事が多くの人に知れ渡るといいなって思います。「保育

園が足りない」とはよく言われてますけど、そもそも申し込むのを逃したら入所できませんからね。

そうだ、思い出しました！産む直前に区役所に保育所の相談に行ったら「産んでからきてください」って言われました。

——ほお、なるほど。

だから、もしかしたら産まないと申し込めないのかな。

——妊娠時に妊娠証明書が出て、役所はそれを元に手続きをするのと同じように、保育園の入所相談も出産証明書みたいなのが必要なのかもしれないね。そこ、どうなのか大事ですよ。

・育児と仕事

——では次に、産まれてから育児の最中に仕事への影響はどのような感じでしたでしょうか？

あー、影響はすごくありますね。

——少なくとも、保育園に預けるまでの一年間は仕事はストップされていたと仰ってましたね。

はい、家で軽い二原とか版權はやってましたけど、「手慣らし」くらいの。それくらいですね。産まれて6ヶ月くらいしてから、時間も1日2~3時間くらいで。

——夜泣きとか凄いと聞きますが……

そうですね(笑) ……おかげで眠たいというか……やっぱり仕事出来ないんじゃないかなって思いますね、産まれて半年くらいは。

——赤ちゃんに手がかかる。……およそ想像を超えた行動をしてくる、とは聞きます。「え……今、それ?!」みたいな。仕事どころではない。仕事できる瞬間が稀に訪れるくらいで、と。

そうですね(笑)

——保育所が決まってからはどのような生活になりましたか？

保育所に預けてからは、預けてる間に仕事をする感じです。

——保育所は何時から何時まででした？

朝7時半から夜7時まで預けてました。タツプリありますけどね。

——だいたい皆さん、そのくらいの時間なのでしょうか？

他の親御さんも皆さん、出勤前に預けて出勤されて、という感じでした。おかげで強制的に朝方になるけど、逆にそれが仕事としてはよかったです。もともと切り替えが苦手で、やり始めると徹夜して次の日寝てる、って生活だったんですけど、それって効率は悪いですよ。今は朝に起こされて、夕方は強制的に退社しないとイケないという。結果として仕事場にいる時間は短くなって、効率は上がってます。

——12時間とか18時間とか、泊まり込んだりとかではなく、集中して仕事のできてる感じですね。

あと、毎朝ちゃんと会社に行くので制作さんから信頼されてる感じがして。ちゃんと毎朝入ると、安心と感してもらえてるみたいですし「拘束にしてもサボらずに、ちゃんと仕事してくれる人だ」と認識してもらえてるようになります。

——実際ずっとスタジオにいるけど机で寝てる時間の方が長かったり、全然スタジオに入らなかったり、連絡つかなかったりという悪い例が多いですから、「毎日ちゃんとスタジオに入って仕事をする」という当たり前の事をするだけで高評価になるという。……当人は赤ちゃんのお迎えがあるから単純にそうせざるを得ないだけなのに。

そうそうそう(笑) あと「子供もいるんだし仕事するだろうこの人は」とも思われてるっぽいんです。

——お互いにとって良いこと尽くしですね(笑)

いやあ、以前は私自身、作業時間の波がひどくて、「制作さんから信頼されてないなあ…」

と自分でも分かってたんですけど、毎日朝スタジオに入ると「なに?! こんだけ信頼されるんだ!」って、その辺はすごく感じます。おまけに「毎日早いですね」とか言われるようになったりして(笑)「いや〜あ(笑)」みたいな。実際は早くきた分早く帰ってるんですけど。

——赤ちゃんに生活スタイルを正してもらってる。

そう(笑) 赤ちゃんに生活サイクル維持してもらってる感じで、ありがたいです。ただ、どうしても時間は限定されるので……。最近、演出の仕事をしたんですけど、アフレコって夕方に始まったりするじゃないですか。

——そうですね。アフレコは昼前スタートの場合と夕方スタートの場合とがありますね。

そう。アフレコが夕方スタートだと保育園のお迎え時間と被ってしまう。

——うーん、そうなりますね。

お迎え時間が19時なので、終わると先生も帰っちゃいますし、それ過ぎると5分で300円だったかな、すごく高い延長料がかかる決まりで。保育園からも「ここからは絶対遅れないでください」って言われてて。制作さんをお願いして打ち合わせとか早い時間にしてもらって、ダビングとかV編とかだと深夜だから出れませんから監督にお願いして。

——監督が週に何度も音響現場に行き来しなくて済むように、アフレコとダビングを同じ日にまとめる場合もありますから、そうなる間違いなく夕方に引っかけますね。

まだ演出だったら融通聞いてもらえる事もありますけど、自分が監督する時にどうなるんだろうって。監督がアフレコ欠席するわけにいかないでしょうし。

——うーん、音響現場に監督がいない訳にはいきませんからねえ……。

その時はベビーシッターを雇うことになるのかなあ……とか。

——アフレコやダビングの音響関係の時間に関しては、作品がスタートする時に各方面の都合を聞いて決めますから、例えば監督が「日中しかダメ」となれば、最初にそれが分かっていたら、それに沿う形で時間が決められます。ですから、監督をやる時は最初に希望を提示することで上手くいくと思います。監督以外でも「効果さんが夜中スタートの他作品のダビングに行かないといけないのでこちらは19時までには終わるようにする」と事前に話し合っ

調整が成されたこともあります。

そうなんですね。じゃあ希望を言えば……

———そうですね、保育園だと産まれてから四歳……六歳……あれ？保育園って何歳まででしたっけ？

産まれて預けてから、小学校に上がるまでですね。

———んん？保育園の次が幼稚園じゃなくて……すみません基本的な質問なんですけど保育園と幼稚園って何が違うんでしょう？

保育園は、両親が外に働きに出ている家庭の子供が対象で「朝から夜まで」預かってくれるところです。幼稚園は、親が外に働きに出ていないお子さんの預かり場所で、たいてい14時とかに子供が帰ってきます。お勉強をしに行くところみたいな感じでしょうか。その差ですね。

———なるほど。すみません勘違いしてました。確かに私も幼稚園に行ってましたけど夜までは居ませんでした。……話を戻すと、「うちは子供の送り迎えがありますから音響の時間はそこを外してください」という事を最初に言えば、「いやいや、難しいですねえ。ベビーシッター雇ってください、アフレコは夕方ですから」と強要する会社は昨今ないと思います。その辺はみんな理解してますし、逆に「どうせ理解されない」と思い込んで言わなかったら、お迎え時間と被っていても普通に時間が決められます。決まってから「実は…」と言っても「そういうことなら最初に言ってくださいよ」となると思います。むしろ自分の状態や条件は周りに最初に言ってあげた方が、周りも慌てなくて済みますから、その方がいいです。

あー、そういえば確かに、今いるうちの会社、その辺はちゃんと都合聞いてくれますから、助かりました。

———多分昔は強要する会社というか「家庭を犠牲に」みたいな風潮多かったと思うんですけど、徐々に「家庭の都合は大事なんだ」って気付いている会社やプロデューサーが増えてきていると感じます。だから要望はどんどん言っていった方がいいと思います。そしていろんな人から要望が多ければ、会社も「そういうケース込みでスケジュール考えるべきだな」って方向にシフトしていきますから、言った方がいいですよ

なるほど、子供が理由で時間の融通が効かないっていうのは、そんなにハンデっていう程ではないんですね。

———そういう想定で音響や編集を組んでしまえばあとはそれに沿って進めるだけですからね。

そうなんです。……ああ、でもスケジュール無くなってくると、ラッシュチェックとか深夜に上がってきたものには対応できませんよね。すぐにチェックしないといけませんから。

———うん、でもそれも深夜に上がってきたなら、もう翌日の昼一でチェックしても同じですよ。治し作業もそれからでいいと思うんです。深夜なんて、動画検査さんや仕上げ検査さんも本来なら帰る時間なわけですから。そこで動画や仕上げさんを朝まで作業させてる現状が異常なわけで、そうならないようにスケジュール管理しないといけません。確かに、朝までにリテークの直しをすれば翌日すぐに撮影が撮れますけど、それで動検・仕上げが徹夜必至というのはダメだと思います。

もうスケジュール切迫して、V編の最中で、上がってきたラッシュ見たらすぐに指示出さなきゃとかだと、そこに居ないと対応できませんけど。それってどの現場でも陥ってる事ではありますけど、でも、本来はスケジュールを一日繰り上げる算段組んでそこを落とさないようにすべき事で、そこを失敗し続けてV編始まってる頃に本撮一発目がようやく来る、みたいな話をよく聞きますが、スケジュール管理が出来てないために動画検査さんや仕上げ検査さんが徹夜で待機、とかが間違ってるんですから、監督やプロデューサーはその一日を死守するのがスケジュール管理上の仕事だと思います。

夜にラッシュやりました、動画検査・仕上げ検査は朝までスタジオで直しをします、というサイクルを変えていかないと、誰も幸せにならないですよ。撮影さんが日中に撮って、切り出したラッシュを夕方から夜にチェックして、直しの指示を出したら、直しの作業は翌日にする、というサイクルでいかないと、誰かが必ず徹夜作業担当になりますよね。本人が日中サボって仕事が深夜にずれ込むなら本人の自業自得ですけど、制作サイクル的に必ず深夜作業担当の部所が発生するのは変えていかないとはいけません。ギリギリの綱渡りの名手になっても、「やって当然」「あの人もやってるんだからみんなもやれ」となるだけです。誰も幸せになれません。

とはいえ今すぐにそうはなりませんから、現状の中で出来る方法を探っていくしかない。お子さんをお持ちの監督は、自宅でサーバーにアップされたラッシュをチェックする、という感じに対応するのも良いと思います。監督が自宅チェックで責任を持って、撮影監督と電話でやり取りするのも良いと思います。今は Skype や Google ミーティングもありますし。動画や仕上げの直しが必要なものは、すぐに指示を出す必要がありますが、そこは各話の演出に

任せるのがいいと思います。監督でなくても色パカや中割ミスは見つけられますし、シートなどの細かい内容は演出の方が把握しているべきですから。その辺は役割分担です。お子さんに手がかからなくなるまでの期間は、そういったスタンスで仕事をするのが正解だと思いますし、それが当たり前にしていかないといけないと思います。

作打ちや演出打ちも「本作品は昼から夕方間に打ち合わせをします」というのを決めればいいと思います。その辺は社会常識が味方してくれます。アニメーターは夕方に起きてきて深夜しか活動しない人もいますが、夜や深夜に打ち合わせをすることはアニメーターの方も非常識であると感じているはずですから「昼から夕方間で」というので進めていいと思います。

とはいえ「僕は30年以上夜型だから夜しか作打ちできない」って人もいるかもしれない。その時は何か考えないといけないかもですが……まあ、最近は昔みたいな非常識なアニメーターって減ってきてると思いますから大丈夫だとは思いますが(笑)

確かに最近は変わってきましたよね。自分も子供生む前は「夜中の閃きが！」とか思ってましたけど、子供産んでからは「……いや、全くそんなことない。規則正しく昼に仕事した方がいい仕事できる」ってすごく感じます。ほんと、朝から仕事してカットをいっぱい出して明るいうちに帰る日の気分の良さ！今日いっぱい出したぞ！っていう満足感、すごくあります(笑)

——若い世代を中心に、その辺に気づいてる業界人は出始めているなって感じますね。

私も子供産んで強制的にそういう生活サイクルになってなかったら気付かなかったかもしれません。若いのに自分で気付ける人はすごいなって思います。

——子供さまさま、ですか？

ありがたいですね

——お子さんは小学校にあがるまであと？

2年ですね。

——それまでは保育園に預けて仕事をする予定なのですね。仕事としては以前と同じ感じに復帰している感じですか？

そうですね。ただそれも、理解のある会社で、拘束してもらってるから出来てるというのは

感じますね。

あと、保育園に勤務証明書を出さないといけないんですけど、フリーだとそれは難しいだろうなって思います。

——それは、業務実態を役所に証明するための……

そうですね。

——確かに、一箇所の会社に入っていたら一回出せば済むかもしれませんが、フリーだと色々な会社と仕事をする場合が多いですから各社に書いてもらうのは大変ですし、そもそもフリーの人に対して証明書が発行できるのか？という問題もありそうですね。

はい、拘束で会社に入ってるから書いてもらえるけど、フリーで自宅だと証明できないから、皆さんどうしてるんだろうというのは感じます。

——今後どのように仕事をするか、というのは会社とどのタイミングで話をしていますか？作品ごとでしょうか？それとも社内の仕事から選ぶ感じでしょうか？

今の仕事は、会社のプロデューサーの采配で拘束にしてもらってます。だから次の仕事も社内でそのプロデューサーが担当する作品にスライドして入るので、自分で作品を選ぶ自由はなくなってますね。

——フリーのアニメーターだった頃の「ちょっとあれやってみたいな」というはできない感じで？

そうですね(笑)

——たまに「ちょっとやってみたい」という気持ちが起こることはありますか？

あー、そうですね。……でも、拘束で「これやって」という仕事の方が面白い場合があるな、と感じています。自分で選んだら絵もカットの内容も自分の好みの中だけですけど、やってと言われた仕事は自分にとって得意じゃない能力を使わないといけないから、結構新鮮で、意外と楽しい感じがします。

——自分が今まで使ってなかった脳の部分が活性化される、みたいなの。

そうそうそう(笑)

——それはいい状態ですね。

そうですね(笑)

——仕事をする上で、育児に関係した不安や心配事は今後解消されそうですか？

なかなか解消されないなと思います。やはり時間が限定されたり他に移れないですから、これまで通りとはいかないなと思います。その辺を少しでも解消するためにデジタルで仕事をする方に切り替えています。

——デジタルで作画する事での利点が？

単純に、デジタル作画だと家でも出来るから、紙もいらなし、わりと早く短縮できるので有利かなと感じてます。

——朝から夕方と作業時間が限定される現状において、デジタル作業は効果をあげていますか？

復帰してからはデジタルなんですけど、いろいろ短縮になるなと感じてます。会社自体がデジタル化に力を入れているのもありますし。

——デジタル化へは移行途中ですか？

あ、私はもう移行しました。

ただ、デジタルも覚える期間とかいるじゃないですか。これからデジタルに移行する人は、産む前に覚えてた方がいいかなとは思っています。

——これから出産される人たちに向けて何かメッセージはありますか？

男性も、育児についてだけでも知っておいてくれた方がいいなって思います。準備しておくことや心構えなど沢山あると思います。あと、うちの会社、同世代でお子さんのいる男性多くて。だからか、みんな生活習慣が子供に合わせて変化してるんです。お子さんがいる人が多いので、未婚の方も「子供生まれると前と同じ(徹夜当たり前)というふうにはいかないな」という雰囲気になってます。大変な姿とかみんな見てるので、会社の中で育児の様子が浸透

しているというか、子供を持つことの情報が共有されている印象があります。ですから、他の会社の人やフリーの方もそういうことを知ることが出来れば良いと思います。

皆さん、大変ながらも良くやってるので、生活習慣の変化は大事だと思います。とはいえ出産はやっぱり女性だけですから、その辺は伝わりにくいかもって思っていました。でも、うちの会社では、朝はお父さんが連れて行って、その分奥さんが先に仕事場に入って、早く仕事始めた分お迎えは奥さんが担当して、お父さんは遅くまで仕事、みたいな役割り分担してるご家庭もあって。

——どちらかが全部引き受けるのではなくて、役割分担を。

そうですね。いま、会社に朝早く来てる男性グループが3人いるんですけど、みんな朝お子さんを保育園に連れて行ってる組なんです。生活サイクルが男性も変わってますね。だから、子供がきっかけで生活サイクル変わってるので、「お母さんだけでなくお父さんも変わるんだ」って感じます。

——会社の方は三人とも、奥さんもアニメ関係ですか？

はい。あとプロデューサーも私と近い時期に奥さんが出産してて、だからその分理解があったのかなあって。

——それはとても良い会社にいますね。

はい、理解のある人が近くにたくさんいて、運が良かったなあって。

——アニメーターや演出は、現状として休みの日にも会社に来る必要が生じる場合もあるかと思いますが、保育園が休みの日などお子さんはどうされているんでしょう？

ありますね。ですから、会社で託児所を作ろうかって話をしてて。

——それは、土日とかですか？

今やろうと話に出ているのは土曜日です。ただ、土曜日は保育園もやってるから実はいらなくて。本当に欲しいのは祝日とかですね。祝日ってアニメーターにとっては平日と変わらないですけど、保育園は休みですから。

——たしかに。

会社の中に託児スペースを作って、保育士さん派遣してもらってみたいようなのがあれば、って話はしてますね。

——それは会社内でそういう話が出ている……

今はまだ「あるとイイよね」という感じです。

——他の会社より理解のある人が多い分、実現するかもしれませんね。ただ、人を雇った時の問題や託児所で事故が起きた時の対応など、課題はあると思います。でも……

あるとイイなって(笑)

前にアニメーターで子供産んだ人と若手の人とで話をした時、若手の人は実力を高めてから子どもを産むというか、子どもを産むタイミングを測ってる気がしたんですけど……

——なるほど……わからなくは無いですけど、ただアニメーターの実力なんて上を求めたらキリが無いですから「高めたら」となるといつになるのか……

そうですね……。それで、その時は子供産んでるアニメーターの人と「産んだら張り合い出るよ、朝方になるよ」って言ったんですけど……後から考えたらそれって拘束してもらったり時間をズラしてもらったり優遇してもらってないと難しいなって思って。実力認められる前だと拘束も無いだろうから難しいだろうなって。

——確かに、「時間が限定されることで集中したり、張り合いが出ることで頑張れたり」という良いスパイラルに入れるといいですけど、それは拘束あつてのことかもしれないし、逆に「もうちょっと時間あれば…」となって負の思いが膨らむと良くないですし、単価で仕事をしていると収入の不安がそれに上乗せされて……。その時、若い方はどんなリアクションでしたか？

「え——(笑)そうなんですかー(笑)」みたいな(笑)

——まあ、確かに出産って人生でもそうそう経験することのない事ですから、即答で「はい、産みます！」とはならないですよ(笑)

その時は勝手なこと言っちゃったなあって……後から反省しました。

——いえいえ、実際に体験した方の言葉はとても参考になると思います。では最後に、他に言い残した事は何かありますか？

アニメの制作会社も一般の企業と同じように育休制度が欲しいですね。そして保育園の申請に関連して、アニメーターの仕事はフリーだと特に「仕事をしている」事を役所に理解してもらるのが難しいので、その証明に普通に協力してくれる制作会社が増えると良いなと思います。

——確かに大事なことですね。本日はありがとうございました。